

財政状況等一覧表（令和元年度決算額）

団体名 伊那中央行政組合

1. 一般会計の財政状況

（単位：百万円）

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	1,938	1,922	16	16	0	1	

2. 公営企業会計の財政状況

（単位：百万円）

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 ／不足額 (実質収支)	他会計からの繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち一般 会計等 負担見込額	備考
伊那中央病院事業会計	12,698	13,440	△ 742	2,096	1,743	9,685	6,079	

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。

2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。

3. 「資金剰余額／不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には(△～)で示している。

4. 「左のうち一般会計等負担見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 充当可能基金の状況

（単位：百万円）

充当可能 基金名	平成30年度 A	令和元年度 B	差引 B-A
退職手当積立基金	92	100	8

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

4. 財政指標の状況

財政指標名	平成30年度 A	令和元年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生基 準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成30年度 A	令和元年度 B	差引 B-A
実質赤字比率						(伊那中央病院事業会計)	-	-	-
連結実質赤字比率									
実質公債費比率									
将来負担比率									
財政力指数									
経常収支比率	100.1	100.2	0.1						

※ 資金不足なし

(注) 1. 「実質赤字比率」・「連結赤字比率」・「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合は「-」で表示している。(ただし、資金不足比率については赤字の会計のみを記載)。

2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△20%である(公営競技は0%)。